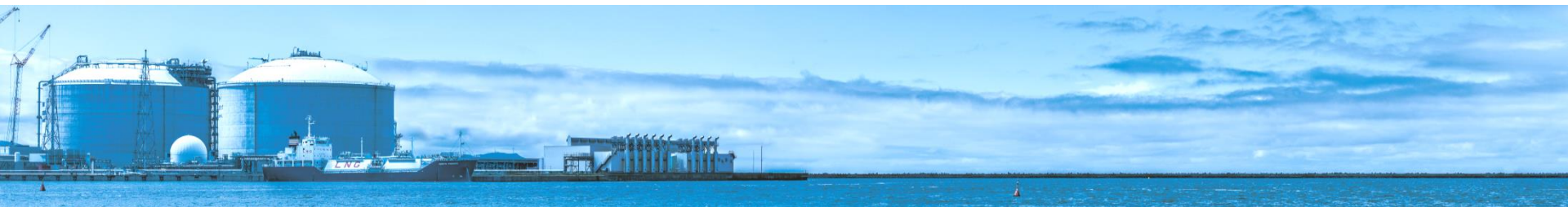


Confidential

北海道ガスの取り組み



2022/08/24
北海道ガス株式会社





北ガスグループ本社ビル



石狩LNG基地



北ガスマスコットキャラクター
「てん太くん」

北海道ガス株式会社

- ・設立 明治44年7月12日
- ・事業内容
ガス事業、電気供給事業、熱供給事業
ガス機器の製作・販売およびこれに関連する
建設工事、その他の関連事業
- ・供給区域
ガス：札幌市、小樽市、函館市、千歳市、
石狩市、北広島市、恵庭市、北斗市、
北見市
電力：北海道全域（離島をのぞく）
- ・従業員数 894名（2022/6月末時点）

2050年以降のカーボンニュートラル時代を展望しつつ、
2030年を中間点として位置づけ、機能的で効果的な省エネを追求し、
総合エネルギーサービス事業を全道へ展開していきます。

総合エネルギーサービス事業の 進化による分散型社会の形成

- ・天然ガス普及の最大化と徹底的な省エネの訴求
- ・「ガスマイホーム発電＋エネルギーマネジメントシステム（EMS）」の標準化
- ・都心部再開発における分散型EMSの導入促進
- ・デジタル活用によるお客さまサービスの強化

カーボンニュートラルへの挑戦

- ・省エネの定量化と価値化
- ・カーボンニュートラルエネルギーの提供
- ・低・脱炭素に資する次世代技術への挑戦
- ・再エネ電源開発と地域の低・脱炭素化



省エネ・省CO₂を実現する
ガスマイホーム発電 コレモ



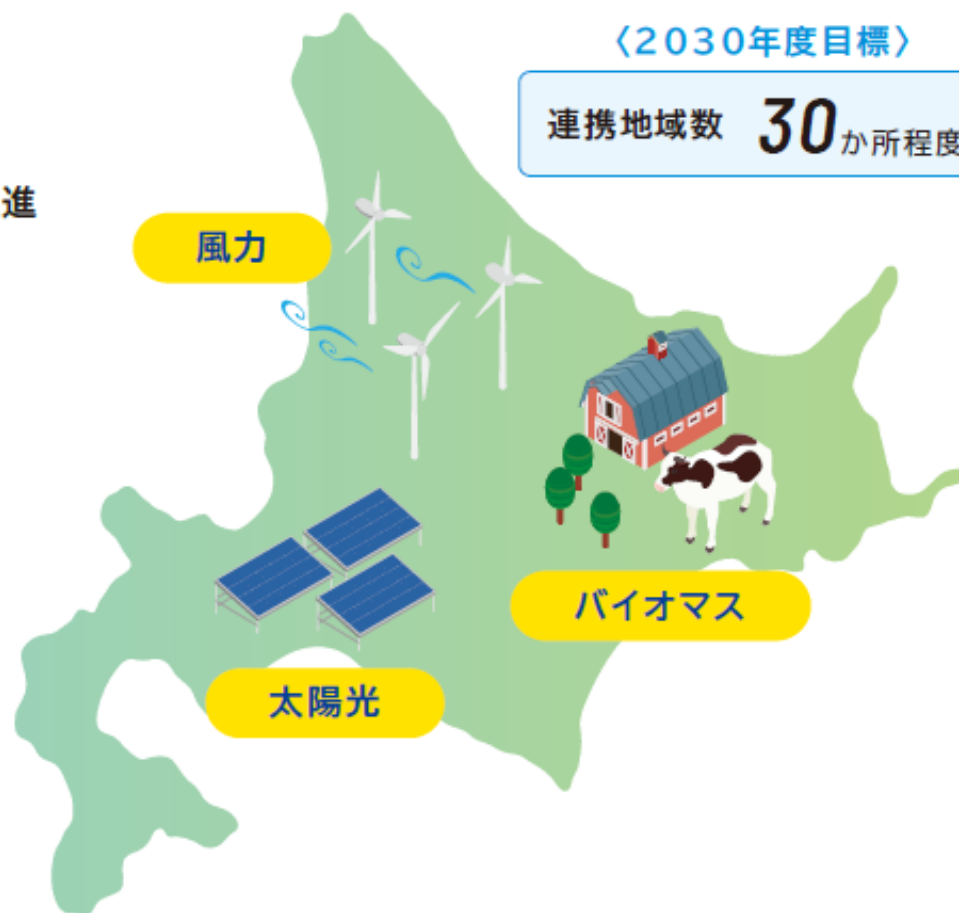
省エネと災害に強い街づくりを支える
新さっぽろエネルギーセンター



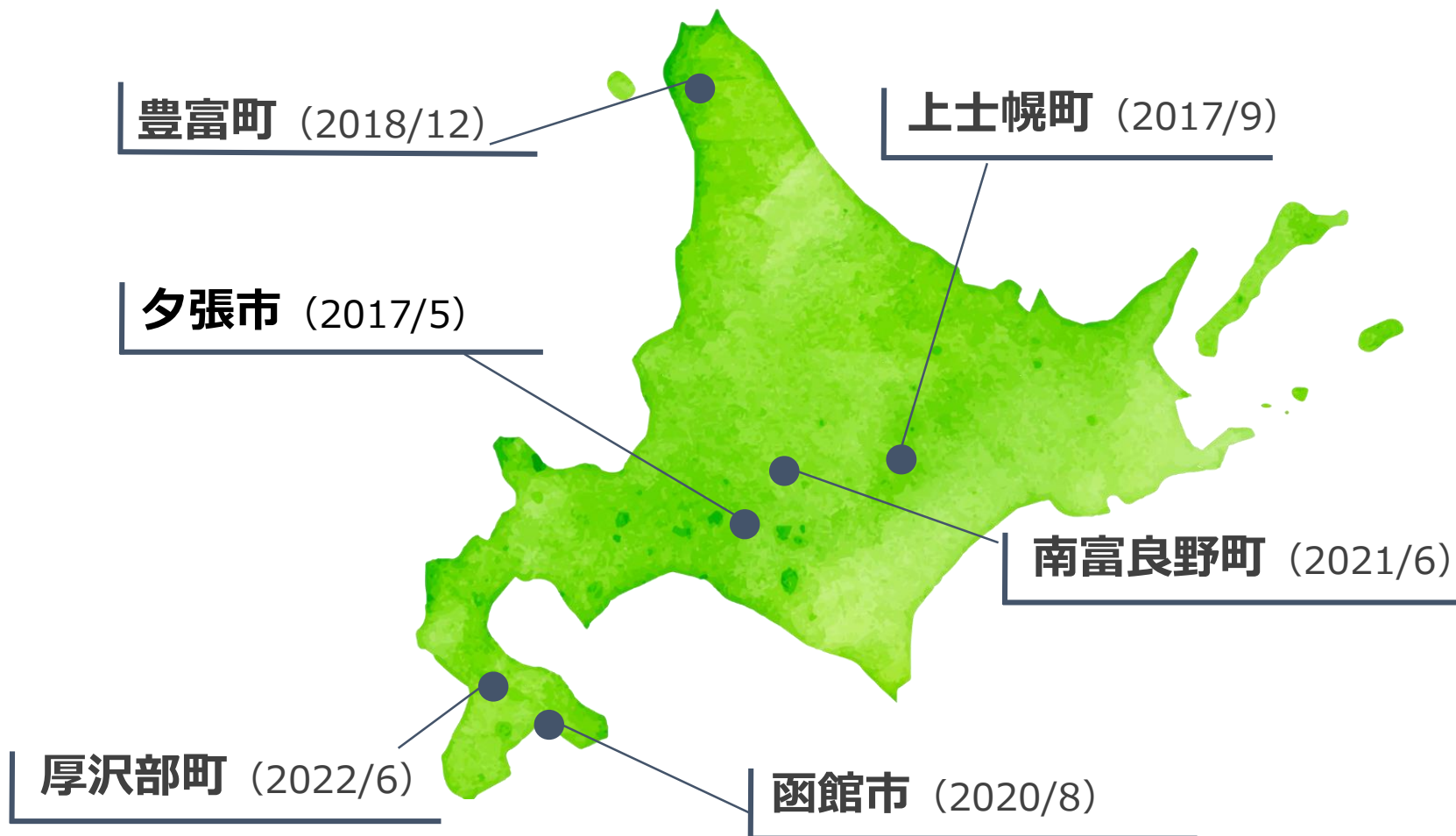
住まいのエネルギーを最適制御する
EMINEL（エミネル）

地域の方々が主役となった、地産エネルギーによる分散型エネルギー社会 地域特性を活かし、まちづくりを通して地域とともに持続的に成長し続けていく

- 地域の再生可能エネルギーを地域内に循環させることによる
低・脱炭素社会の実現・地域内経済循環の促進
- 地域に電源を整備することによる
エネルギーセキュリティの強化
- 地域の再生可能エネルギーによって作られる
地域の商品・観光のブランド力向上
- 地域特性を踏まえた
快適な生活を支援するサービスの提供



道内各地域と連携し、地域に賦存するエネルギーの地産地消を進めることで、低炭素化・エネルギーセキュリティ強化に加え、資源循環による経済振興・地域活性化を実現します。



酪農業が盛んな上士幌町では、畜産バイオマスをもとに発電した地域資源・エネルギー地産地消の取り組みを進めています。

畜産バイオガス発電

牛の排せつ物をもとに発電



↑ 酪農家が排せつ物を提供
(廃棄物→原料へ付加価値)

→ (株) karch
が北ガスを通して電気を調達

地域新電力会社



北ガスとして、需給バランス調整や契約獲得手法など、電力事業運営を支援

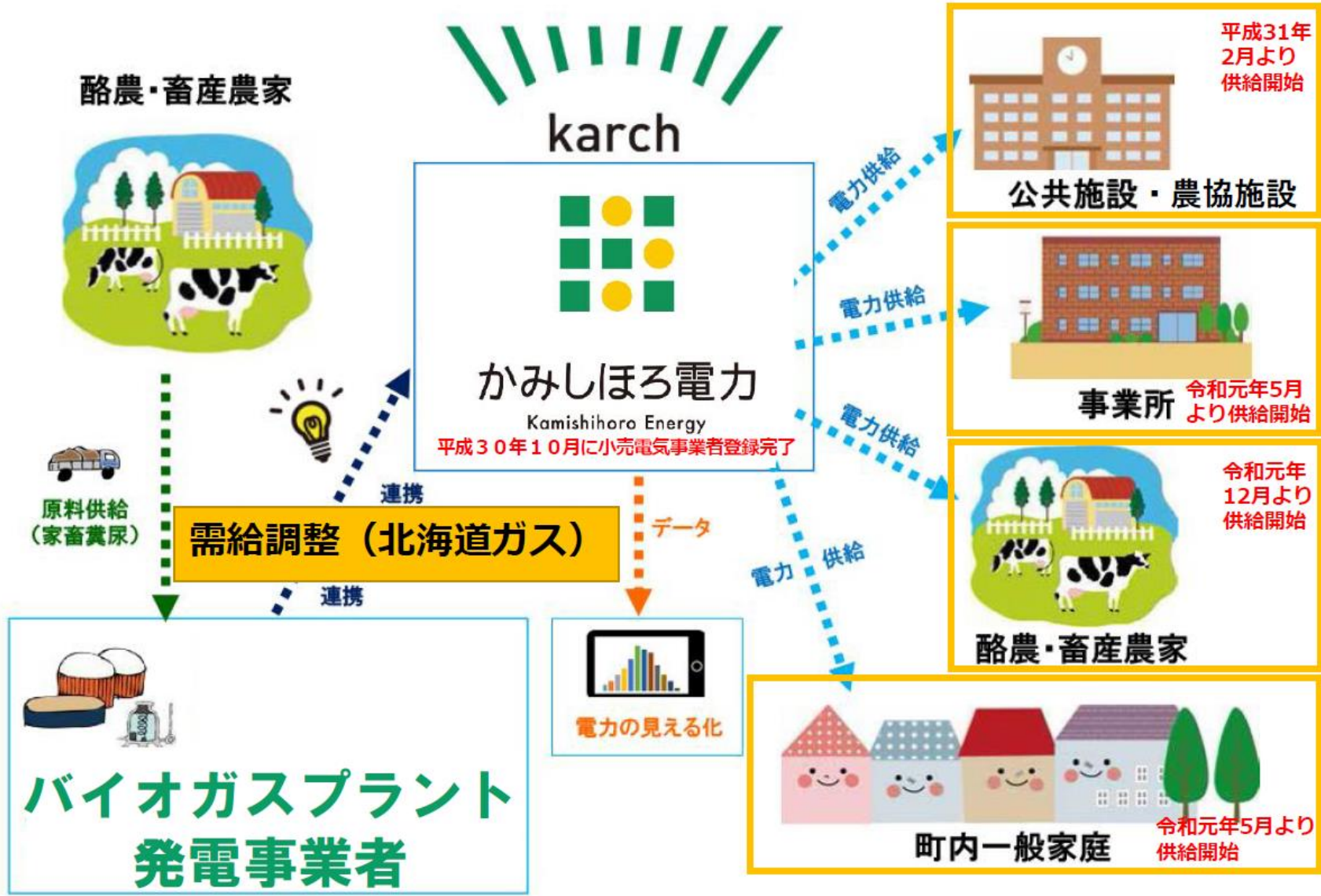
↓ (株) karchがまちへ、地元で作られた電気として電力供給



牛舎環境を見える化し、搾乳量増加や光熱費低減を目指すシステムを共同で開発検討中

畜産版エネルギーマネジメントシステム





連携における北ガスの役割

✓ 電力事業立ち上げ支援

小売事業など各種登録、契約、顧客管理システム選定など

✓ 北ガス発電BG（バランシンググループ）による需給管理支援

✓ 電力営業、管理業務支援

営業活動やツール類のアドバイス
各種報告書類の作成指導など

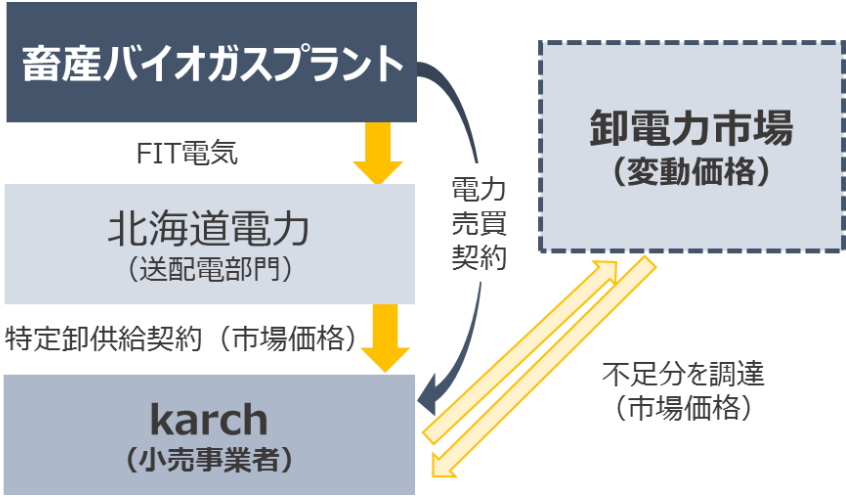


✓ 畜産版エネルギーマネジメントシステム（EMS）開発への協力

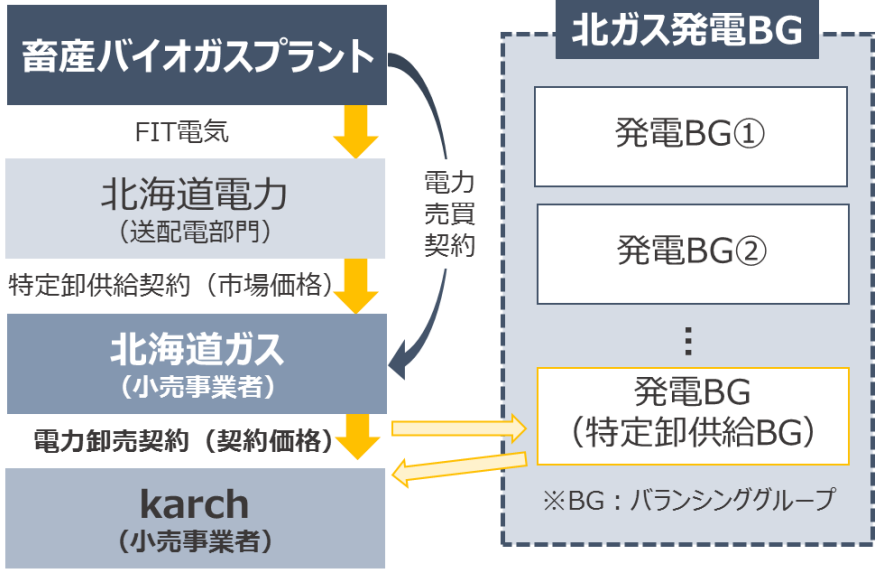
かみしほろ電力を運営する（株）karchは、北ガスのバランシンググループに入り、電力を購入

⇒ 北ガスが需給調整することでインバランスリスクを回避

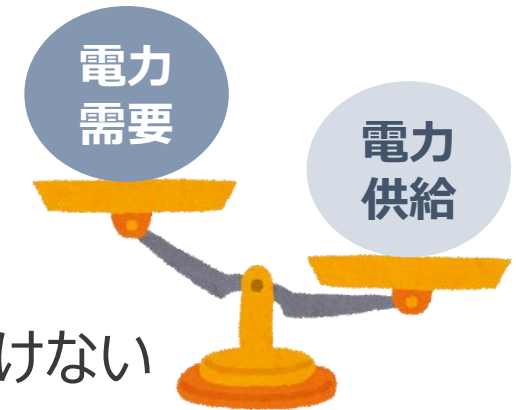
自社で電源調達・需給管理する場合



実際のフロー



電力は、安定供給維持のため
“同時同量”の考え方のもと
“需要 = 供給”となるようにコントロールしなければいけない



予測した需要量と実際の供給量に差異（＝インバンス）がでると、
一般電気事業者（北海道電力）へ
ペナルティ料金を支払わなければいけない

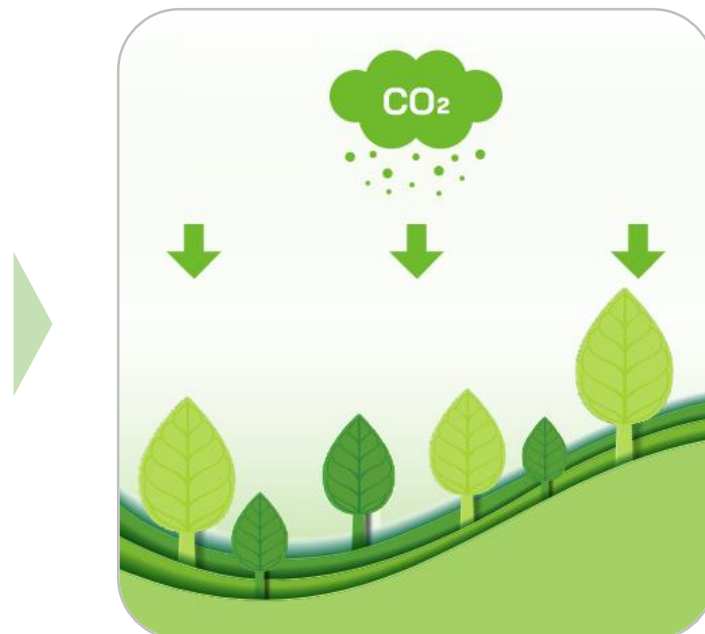


北ガスが需給管理を行うことで、
地域電力会社が電力事業を行ううえで
大きなインパクトになりうる
インバンスリスクを弊社が負うことで
安定して事業を行うことが可能となる

地域と連携して長期にわたり森林を適切に管理し、自然環境保全に貢献。
森林のCO₂吸収量をJクレジット化し、カーボンニュートラルに向けた弊社事業の
取り組みに活用していきます。



取得した南富良野町内の森林
（手前は「かなやま湖」）



健全に育成された森林から得られる
CO₂吸収量を、**J-クレジット**として価値化

稼働済み発電設備を取得・運用し、FIT期間満了後も自社電源として長期安定的に活用することで、道内の再エネ導入拡大に貢献していきます。



栗山太陽光発電所（499kW）



稚内風力発電所（2,300kW）

地域内の遊休地（廃校跡地）などを活用した太陽光発電設備の導入にも取り組んでいます。



見たい未来は、つくっていく。

2013



SARA TAKANASHI
OUR TEN-YEAR HISTORY

2012



ATSUNORI INABE
OUR TEN-YEAR HIS

2021



HOKKAIDO GAS
OUR TEN-YEAR HISTORY

次の10年も、
皆さんとともに。

2020



SARA TAKANASHI
OUR TEN-YEAR HISTORY

2019



ATSUNORI INABA
OUR TEN-YEAR HISTORY

スペシャルムービー公開中!

ご清聴ありがとうございました。